

第 1 2 次宮城県職業能力開発計画 骨子（案）

基本的方向性 1 県内産業の持続的な成長を支える産業人材の育成の推進

富県宮城を支える県内産業の持続的な成長促進のために、地域のニーズを捉えた産業人材の育成・確保を図る。

施策 1 地域産業・成長分野を支える人材の育成・確保

施策 2 地域のニーズを捉えた公的職業訓練の実施

施策 3 企業・業界団体等の連携・共同による人材育成の推進

施策 4 現場人材の育成・確保

基本的方向性 2 時代や産業構造の変化に対応できる産業人材の育成

デジタル化の進展や急速な産業構造の変化に対応できる専門性や創造性などを持つ産業人材の育成を図る。

施策 1 今後求められるスキルの変化に対応した人材育成

施策 2 デジタル化や技術革新等に対応できる人材の育成

施策 3 労働者の自律的・主体的なキャリア形成、リスクリング支援

基本的方向性 3 県民一人ひとりが活躍できる職業能力開発の充実

少子高齢化の進展による生産年齢人口の減少が進む中で多様な労働者の能力発揮、生産性・処遇向上へ向けた職業能力開発に取り組む。

施策 1 非正規雇用労働者の職業能力開発

施策 2 女性の職業能力開発

施策 3 若者の職業能力開発

施策 4 中高年齢者の職業能力開発

施策 5 障害者の職業能力開発

施策 6 就職やキャリアアップに特別な支援を要する方、外国人労働者への支援

基本的方向性 4 技能の継承と振興

熟練技能者の高齢化や若者のものづくり離れがみられる中、長年培われた技術・技能を若者に継承していくことや技能者の意欲向上のため、技能の振興を図る。

施策 1 技能の評価と卓越した技術・技能継承の支援

施策 2 技能尊重気運の醸成